

題名 広島へ行って考えたこと

鹿沼市立東中学校 (氏名) 宮本 歩夢



私は、追悼平和記念館でおよそ14万人の死没者の数を石の
タイルで表した追悼空間に入ったとき、鳥肌が立ち、言葉で
表せないような感情になりました。言葉では原子爆弾のもたらした大きな被害
を分かっていたものの、実際にその当時の写真やものを見てみないと分からな
いその時の状況や原子爆弾の存在をより深く実感しました。私はこれから先、
何年経っても日本に原子爆弾が落とされたことだけでなく、その実態を全ての
人が理解しなければいけないと思いました。そのために、まず私は友達や学校
で今回学んだことを話していきたいです。そして、今の私たちができることを
考えて全員で取り組める世界、原子爆弾がなくなり、世界中の全ての人が笑顔
で過ごせるように願っています。